産学連携で地場クラフトを考える日。

ホームスパン Meeting

クラフトに興味のある方、
どなたでもお聞きいただけます
参加無料

● ホームスパンとは ●

羊毛を手紡ぎ、手織りした
服地やマフラーなどの毛織物です。
岩手県には大正時代からその技術が
伝わっており、全国で工業化が進む中、
今でも工房が多数残っています。

2016年12月3日(土)

アイーナ7F 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室1
(岩手県民情報交流センター／盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

13:30 受付 ／ 14:00 開演（16:00 終了予定）
第一部 学生によるプレゼンテーション／第二部 ホームスパン座談会

主催／岩手県立大学盛岡短期大学部
菊池直子研究室
tel.019-694-2900（事務室）

共催／ LLP まちの編集室

協力／蟻川工房、植田紀子織物工房、
田中祐子、中村工房、
みちのくあかね会、森由美子

学生を中心としたホームスパン初心者たちが
盛岡市と近郊にある6つの工房にて行ったワークショップをもとに、
「衣食住で考える私のほしいホームスパン」を発表します。
工房からも職人たちが一堂につどい、岩手が誇る伝統的クラフト、
「ホームスパン」の今後の可能性を探ります。
どなたでもお気軽にご参加ください。

《この事業は、地域政策研究センター地域協働研究費により助成を受けました。研究代表者／岩手県立大学盛岡短期大学部 菊池直子》